

H25. 3. 8 (金)
千葉日報より



盤洲干潟保護に 基金10万円贈呈

県損保代理業協会

環境保護や社会貢献活動に取り組み団体を支援するため、日本損害保険代理業協会が設立した「グリーン基金」に木更津市の小櫃川河口で活動する「盤洲(ぼんず)干潟をまもる会」(田村満代表)が選ばれ、10万

円が贈られた。写真。

千葉市内の県損保保険代理業協会で5日行われた贈呈式で、中臺勝美会長は「息の長い活動となるよう協力していきたい」と述べ、まもる会の田村代表に目録を手渡した。

まもる会では毎年5月の大潮にあわせて干潟のゴミ拾いと観察会を行っており、同協会会員も一緒に参加して活動を支えている。

田村代表は「取り組みに理解をいただきありがとうございます。これからの活動に役立てたい」と話した。

全国で希望団体を募った2012年度「グリーン基金」は同会を含む計22団体が選ばれ、それぞれに寄付金が贈られた。